

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

## 21. その他

### 文献

植田俊夫, 山下和範, 中森靖, ほか. 補中益気湯 (TJ-41) の MRSA 保菌抑制効果の検討: 第一報. *Progress in Medicine* 1999; 19: 1000-3. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

### 1. 目的

外傷患者における補中益気湯の MRSA の保菌抑制効果、緑膿菌保菌抑制効果、感染症発生予防効果、好中球数、CRP 値を評価

### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

### 3. セッティング

大阪大学附属病院 (救急部)

### 4. 参加者

1 週間以上上記施設に入院した 16 歳以上の外傷患者 22 名

### 5. 介入

Arm 1: 補中益気湯投与群 10 名登録されたが 2 名脱落し、8 名。男 : 女 (3 : 1)  
平均年齢 46.8 歳。ISS (injury severity score) 26.1

Arm 2: 非投与群 12 名。男 : 女 (3 : 1)。平均年齢 31.2 歳。ISS 24.0

### 6. 主なアウトカム評価項目

入院当日、3 日目、7 日目、以後 1 週間ごとに細菌検査。検体は鼻腔、咽頭拭い液、喀痰、中間尿、糞便、創部擦過物。2 群間で MRSA と緑膿菌の発現率、感染症発現率、CRP、好中球数。

### 7. 主な結果

好中球、CRP については両群間に有意差を認めなかった。投与群 2 名、非投与群 5 名に頭部外傷があった。これらの髄膜炎発症頻度は、投与群では発症しなかったが、非投与群では 5 名中 4 名に髄膜炎の発症を認めた。肺炎の発症については、差はなかった。MRSA については、投与群で 8 名中 1 名、非投与群で 12 名中 4 名の保菌が確認されたが、有意差を認められなかった。緑膿菌については 8 名中 1 名に検出された。

### 8. 結論

外傷患者において補中益気湯を投与することにより MRSA の保菌、感染症が抑制される傾向が見られる。

### 9. 漢方的考察

なし

### 10. 論文中の安全性評価

記載なし

### 11. Abstractor のコメント

救急医療の現場で実践された貴重な RCT である。著者らが本文で論じているように補中益気湯の投与時期にバラツキがあった。短報のため詳細不明の部分もあるが、補中益気湯の投与方法や投与期間、盲検化の有無などの記載があればさらに信頼性の高い報告となった。新しいプロトコールで試験を実施中とのことなので、結果を期待したい。

### 12. Abstractor and date

鶴岡浩樹 2007.6.15, 2008.4.1, 2010.6.1